

鼯鼠

驚テ土上ニ出、若足響ヲ聞ケバ速ニ避走リテ獲コト能ハズ、土上ニ出テ日光ヲ見レバ便死ス、此ニモ見、日光則死ト云、和名鈔ニハ、見三光即死ト云、形鼠ノ如クニシテ、肥扁、長サ六七寸、毛柔細ニシテ微黒、用テ刀劔ヲ拭フベシ、頭瘦鼻喙尖リ出ルコト五分許、淡紅色、脚モ亦同色ニシテ短ク、五指アリ、後足ハ小ク、前足ハ至テ大ニシテ左右ニヒラク、此足ニテ土ヲ撥シ行ク、甚力アリテ大石ヲモ動カス、尾ハ小ニシテ短シ、此鼠ヲ捕ヘ、諸腸ヲ去リ、淨クシ、焼テ灰ト爲テ、和方書ニ土龍霜ト云、土猪灰トモ云、和方多シ、又用テ拂、疥狗ノ疾ヲ治ス、

〔倭名類聚抄十八群名〕鼯鼠 爾雅集注云、鼯鼠上音 狀如鼠赤黃而大尾、能食鼠、今江東呼爲鼯音性、和抄云鼠狼、漢語

〔箋注倭名類聚抄七名〕爾雅、鼯鼠、郭注、今鼯似鼯赤黃色、大尾、啖鼠、江東呼爲鼯、此所引略同、但似鼯

作如鼠、按說文云、鼯如鼠赤黃、尾大、食鼠者、繫傳本作如鼯、是有如鼠如鼯二說、則似郭作似鼯、舊注

作如鼠也、略中 按廣雅云、鼠狼、鼯、藝文類聚引廣志云、黃鼠善走、凡狗不得、惟鼠狼能得之、

〔類聚名義抄三〕鼠狼 イタチ 〔同四〕狄正、狃、反、黃、狄、 貍今、狄、宋 〔同十〕鼯音、酉、イタチ、和、イウ、 鼯性、イタチ

〔日本釋名中〕鼯 魚絶イオタチなり、このみて魚をとる、小池にいたち入れば魚たゆるゆへに名づけたり、

一説いたちは口よりいきをはけば、火のごとし、火をはけば、身を立て行くゆへに、いたちと云、いは火也、

〔東雅十八〕鼠子ズミ略中 イタチといふ義不詳、古き諺に、イタチの道を断ちぬれば、そのよしみ

絶る事あるなりなどいふ也、これらの諺、古俗に出たらむには、然いふ故もありぬべけれど、今は聞えず、

〔倭訓栞中編二〕いたち 鼯をいふ、息絶の義物を取らんとて、息を絶て來近づくに及んで取とい

へり、又氣立イキの義にや、鼯のいくつも累りて氣を吹が、自ら火と見ゆるを、俗に鼯の火柱といへり、